

生涯にわたり自ら健康づくりに取り組む児童の育成

～望ましい食習慣の形成と歯・口腔内を健康に保つ指導を通して～

宮城県黒川郡大郷町立大郷小学校

本校のある大郷町は、宮城県のほぼ真ん中に位置し、稲作を中心とした農業が主な産業である。近年、りんご・ほうれん草・モロヘイヤなどの生産もさかんになってきている。兼業農家の割合が高く、家族構成では三世代・四世代同居の家庭も多い。地域ぐるみで児童を見守る意識の高い地域である。

25年度の実践

1. 学級活動

(1) 1年生：歯に関する絵本の読み聞かせ

1年生の各クラスで加古里子著「はははのはなし」（福音館書店）の大型絵本を使った読み聞かせを行いました。1年生でも分かりやすい内容で、児童は真剣に聞き、自分の歯について関心を高めました。

(2) 3年生：国語の授業とタイアップ

3年国語（東書）教材「ほけんだよりをよみくらべてみよう」を使って「むしばになるしくみ」「むしばのこわさ」等を学習しました。養護教諭が本校のう歯率のデータを提供したり児童の疑問に答えたりするなど関わりを持つことで、学習意欲や歯の健康に対する関心を高めました。

(3) 6年生：歯の健康を考えた栄養指導

6年生は家庭科の学習と合わせて、栄養士が参加し歯の健康のための献立作りを行いました。子どもや老人の歯を考えた献立を作ることができました。

2. 児童会活動

(1) 児童朝会での呼びかけ（保健委員会）

良い歯の日に向けて保健委員会の児童が劇とクイズで全校児童に「歯の大切さ」を訴えました。

(2) 児童朝会での呼びかけ（給食委員会）

給食週間にちなんで、児童朝会で給食委員が「食べ物たちの大会議」を発表し、栄養のバランスの大切さを全校に訴えました。



3. 学校保健委員会

(1) 組織と運営

学校医・学校薬剤師・PTA役員、教職員で組織され、年一回定例会を開いています。

(2) 歯科保健に関する議題について

学校歯科医に講話をいただき、問診票改良の経緯本校児童の歯の健康の課題と改善のための手立てなどについて、教職員・保護者の理解を高めました。

